

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社八十二銀行)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【予定】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異なる取得経路があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・「八十二グループ 人権基本方針」で「差別の禁止」を掲げており、人種、国籍、出身地、性別、性自認、性的指向、年齢、障がい、宗教、信条、経歴など、あらゆる差別をしないことを宣言し、ホットラインを整備する等、差別のない環境整備に取り組んでいる。										5.1 5.2 5.5			8.5 8.8		10.2 10.3										16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・全職員を対象にハラスメント勉強会を継続して開催している。 ・行内にはハラスメントホットラインを設置し、随時相談可能な体制を整備し、行内に周知している。											5.1 5.2 5.5			8.5 8.8											16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・早帰り日/早帰り週間の設定による意識の醸成や業務フローの電子化、ペーパーレス化による労働生産性の改善を継続的に取り組んでいる。 ・労働時間が一定要件に該当した場合、個別に問診票の作成や産業医との面談を実施している。														8.5 8.8											
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・「八十二グループ 人権基本方針」において人種や国籍等も含むあらゆる差別の禁止を掲げており、評価・処遇等を含む一切の差別を行っていないことを確認している。				4.4											8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・産業医と保健師が職場巡回を行い、職場内の安全衛生状況を確診、職場内の労災事故を未然に防止する取組みを行っている。 ・月1回開催している衛生委員会では労災の事例を共有し、労災防止に努めている。				3											8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年1回、ストレス診断を実施。必要に応じて保健師が個別フォローし、メンタルヘルス維持に取り組んでいる。 ・年2回、随時研修の際にはメンタルヘルスの研修を盛り込み、セルフケア/職場内でのラインケアについての啓発に取り組んでいる。				3																					
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・「八十二グループ ダイバーシティ&インクルージョン基本方針」に基づき、多様な人材が働きやすく、やりがいを持って働ける職場環境の整備に取り組んでいる。 ・取組状況が評価され、プラチナくるみんプラス認定/えるぼし認定を取得した。											5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・複線型人事制度の運用や各研修プログラムの充実により、職員一人ひとりの自律的なキャリア形成を通じた自己実現と、多様な価値観や持ち味を活かした多面的な能力伸長を図れるよう積極的に取り組んでいる。				4	5.5										8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム/就業規則、パートタイム/請給付規程を定め、各種手当や福利厚生など不合理な待遇差の無い体制を整えている。また、行員への転換制度を定めている。						5.5									8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ			・すべての従業員とその家族の心身の健康保持・増進が、従業員の能力を最大限発揮するために極めて重要であるとの認識のもと「八十二グループ 健康経営基本方針」を策定し、運動促進、栄養指導、定期健康診断・人間ドック等の各種健康施策に取り組んでいる。 ・取組状況が評価され、健康経営優良法人(大規模法人部門)に8年連続で認定されている。				3											8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・「環境マネジメントマニュアル」に基づき、廃棄物の種類・量などを把握・管理し、削減に取り組んでいる。																	11.6	12						14.1	
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・八十二グループのエネルギー使用量、温室効果ガス排出量(Scope1〜3)を算定・開示している。															7.3										13
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・当行(単体)の温室効果ガス排出量削減目標「2023年度ネットゼロ」は2022年度に、「2030年度2013年度比60%削減」は2023年度に達成したため、目標の対象範囲をグループ全体に拡大し、八十二グループ一体となって削減に取り組んでいる。															7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令等で規制されている有害化学物質を把握した上で、「環境マネジメントマニュアル」に基づき、使用量の抑制に取り組んでいる。				3.9						6.3								11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (黒などの取得証拠があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																			
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・「八十二グループ 生物多様性保全 基本姿勢」に基づき、生物多様性の重要性を認識し、その保全に努めている。 ・「八十二の森」活動、棚田保全活動を実施している。														6.6										15												
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・銀行界で初めて構築した「古紙回収・再生・利用」の一環システムにより、排出される紙をトイレットペーパーなどに再生したうえで利用している。 ・無通帳口座<e-リブレ>やネットE印等、ペーパーレス化に資する商品・サービスを展開しているほか、業務のデジタル化によるペーパーレス化にも取り組んでいる。																	13			14.1																
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・「環境マネジメントマニュアル」に基づき、水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる。																	6.4																			
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・ISO14001を取得している。																																				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・ホームページ、有価証券報告書、統合報告書等で環境の取組みに関する情報を開示している。 ・エネルギー使用量と温室効果ガス排出量は、外部機関から第三者保証を取得している。																																				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・新築店舗は原則ZEB化していることに加え、オフサイトPPAやCO2フリー電力等を利用することで、使用電力全量を再生可能エネルギー化している。																																				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・新築店舗では、長野県産材（サワラ・ヒノキ等）を使用することで、天然資源の継続的利用に配慮している。																																				
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・「コンプライアンス基本方針」、及び「コンプライアンスマニュアル」を定め、役職員に周知している。 ・内部通報制度等のけん制機能により、汚職・贈収賄防止に努めている。																									16	16.5										
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・「コンプライアンス基本方針」、及び「コンプライアンスマニュアル」を定め、役職員に周知している。																										16										
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・発明考案等の取扱いに関する規程に基づき、知的財産の保護に取り組んでいる。																																				
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報保護宣言」を行い、「個人情報の保護に関する法律」、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」をはじめとする関係法令やその他の規範を遵守し、適切に管理している。 ・全職員向けの社内研修を毎年実施している。																										16										
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		・紛争鉱物を取り扱う業務が無い。																										16										
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・「八十二グループ サステナブル投資方針」で、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止等について、お客さまと認識を共有し、共に取り組んでいる。																										5	8	10	12	13	14	15	16	17		
	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。																											3					8	9	10		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定